

研究大会速報!

期日：平成30年10月24日
会場：さいたま市民会館うらわ
編集・発行 埼事研広報部

開会式

開会式には、多くのご来賓にご臨席賜りました。
埼玉県教育委員会教育長代理 教育局市町村支援部副部長 関口 睦様からの「今回の研究大会を通して得られる成果が、未来を担う子供たち一人一人の健やかな成長に繋がっていくものと確信しております。」とのお言葉をはじめ、4名のご来賓よりご祝辞をいただきました。



大会準備状況&岡山大会PR

第53回全事研大会（埼玉大会）の準備状況を、理事長の関口より報告しました。

「埼玉大会は47年ぶりの開催で、今回は人生で一度の大きなイベントです。全会員が積極的に関わってほしい。」との案内を行いました。

続いて岡山支部の実行委員長・事務局長のお二人より全事研岡山大会のPRがありました。

素敵なPR動画とともに岡山大会の魅力をお話いただきました。



講話

講話では、埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課課長 馬場 敏男様より、「教育の現状と学校事務職員に期待すること」と題し、お話をいただきました。

新学習指導要領で「社会に開かれた教育課程」と謳われたように、地域社会と共に歩み、多様な人材が活躍する学校が求められている。このような中で学校事務職員が、学校予算やコンプライアンス、リスクマネジメントといった専門性を拡大・向上・発揮し、校長のビジョンのもとで地域社会との連携・協働を推進しつつ、リーダーシップをとって学校を変えていってほしい、とご期待を述べられました。



研究発表&研究協議

研究発表では、「目指す事務職員像に向かうために、目標を明確にする必要があり、キャリアデザインを描くことで、手立てを考えることが有効である。」とし、「自らの力量を発揮し、職位に応じた役割を果たしていくことで、責任を果たすことができる。学校運営に対し、積極的に主体的に役割を果たしていくことが、学校にかかわる全ての人たちの活動を促し、子供たちの豊かな育ちの支援につながっていく。」との提案を行いました。

研究協議ではグループ協議が行われ、自身の考えや実践など、活発に意見の交換がなされました。

発表と協議を受け、助言者の先生からは「発想力、構想力に基づく企画、立案の能力を磨いてください。」とのお言葉をいただきました。

